

組立説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。



FC-WSM-073WC-WE112



もくじ

安全上のご注意	・・・・・・・・・・	2～3
本体・付属品の確認	・・・・・・・・・・	3
交換方法	・・・・・・・・・・	4～6
Memo	・・・・・・・・・・	7

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



警告



熱源や火気に近づけない。また熱源の側での使用や収納をしない
火災発生の原因となります。



製品を振り回したり、投げたりしない
製品が故障するだけでなく、ケガの原因となり大変危険です。



生地交換途中で止めピンを抜かない
ローラー急回転しけガの原因となり大変危険です。



注意



スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属などを近づけない
本製品破損の原因となります。また、けがを負う恐れがあります。



スクリーンを折り曲げたり、切ったりしない
製品の劣化、磁力の低下を招きます。また、映写効果を損ないます。

⚠ 注意



スクリーン面以外でマーカーを使用しない
消すことができなくなります。



磁気記憶媒体を近づけない

磁気カード、磁気テープ等の磁気記憶媒体に近づけると、データを破損する恐れがあります。



ベンジン、シンナー等の薬品は使用しない

故障の原因となります。



薬品を落とさない

けがや故障の原因となります。



直射日光の当たる場所や高温多湿の場所で使用および保管しない

変色や変形および本製品の品質低下の原因となります。



張り付けていない状態でスクリーンを引き出さない

本製品の機能を損なう恐れがあります。



横に持ち歩くときは、前後の人や物に十分注意する

本製品が人や物に接触し、転倒・落下によるけが等をさせる恐れがあります。



張り付けたまま放置しない

本製品が人や物に接触し、転倒・落下によるけが等をさせる恐れがあります。
また、本製品の機能が損なわれる恐れがあります。

本体・付属品の確認



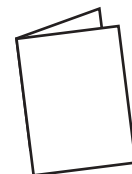
交換用マグネット式スクリーン生地 ×1



セパレータ付きテープ ×3
(50×200mm)



止めピン ×1

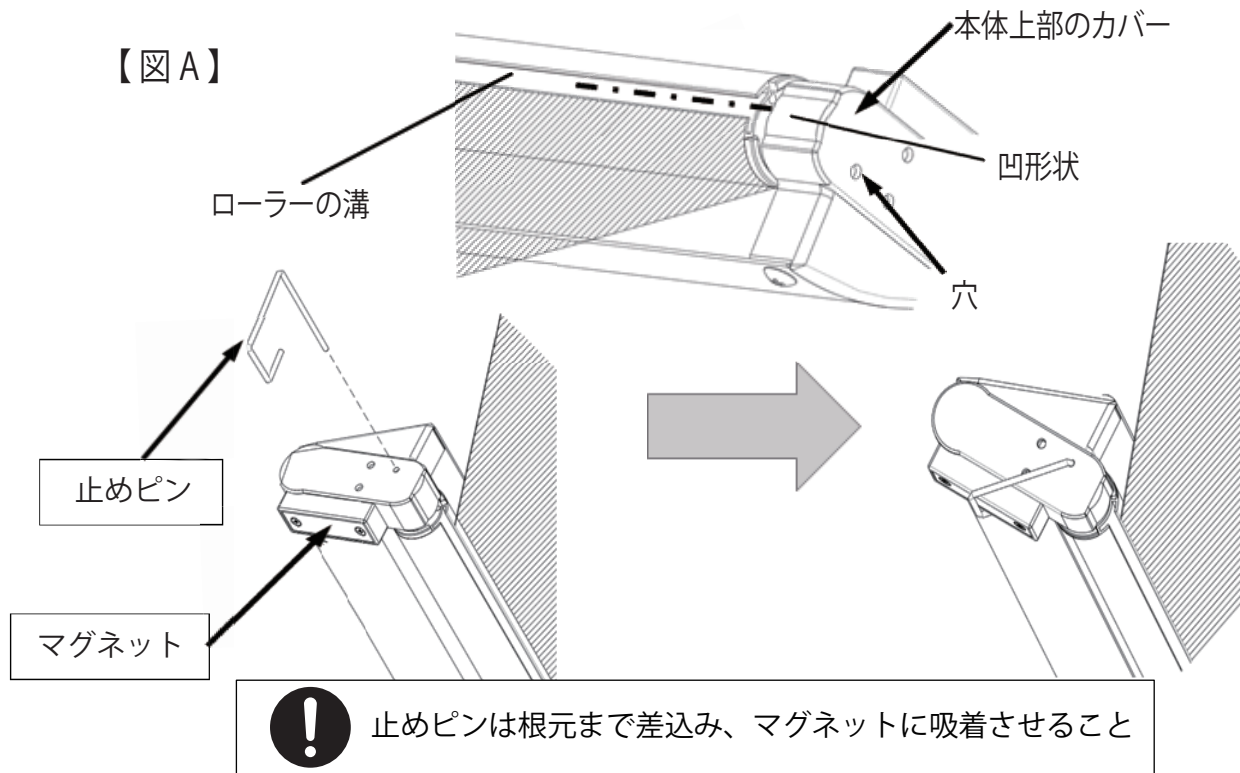


組立説明書

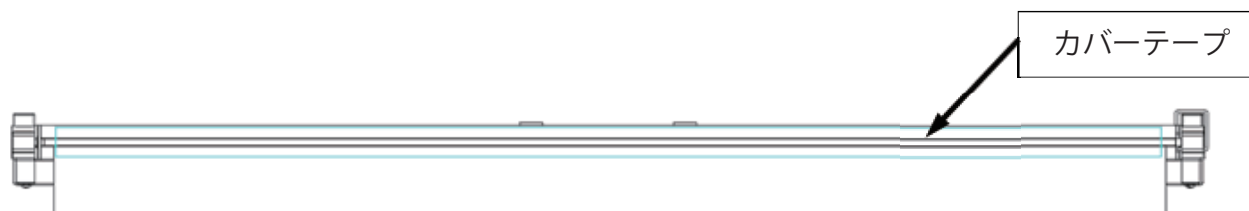
交換方法

1. マグネット式スクリーンの古い生地をはがします

- ・ローラーを回して、生地をローラーから出し切って、図 A のように、ローラーの溝と本体上部のカバーの凹形状を一致させ、穴に止めピンを差込み、ローラーが回転しないようにロックします。

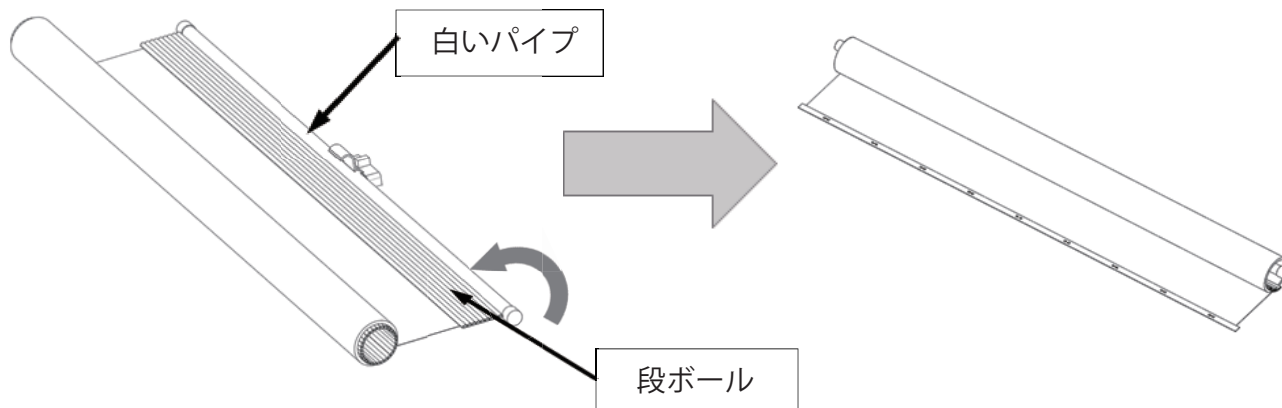


- ・カバーテープを先にはがしてから、両面テープで固定された生地をはがしてください。
ローラー部にカバーテープや両面テープの糊が残らないように、きれいに清掃してください。



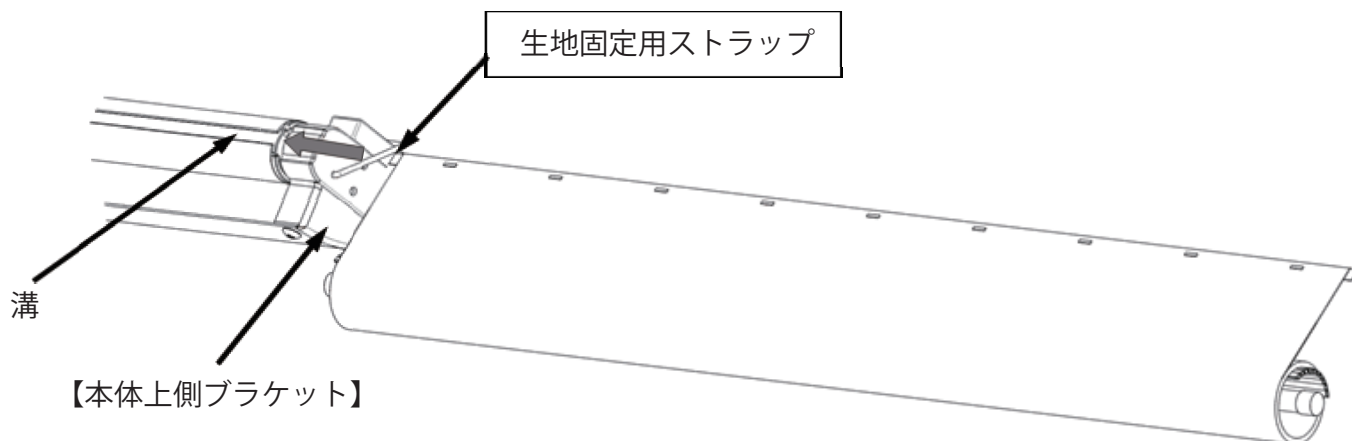
2. 梱包をほどき、巻き替えます

- 梱包のままでは取り付けができないため、巻き替えが必要です。
段ボールを白いパイプに添わせて巻きます。

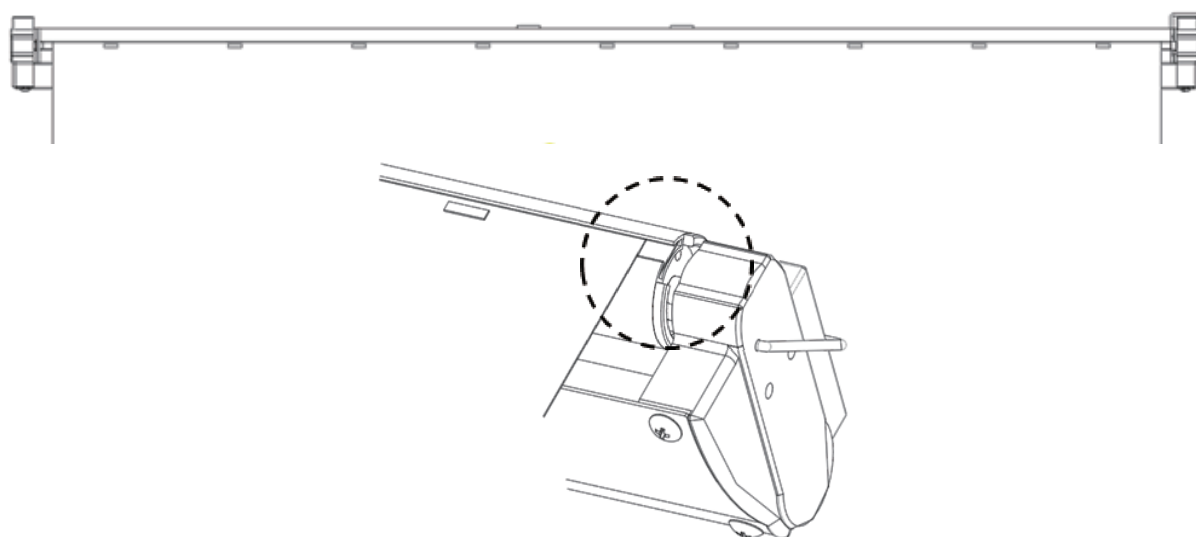


3. 生地固定用ストラップをローラーの溝に差込み、取り付けます

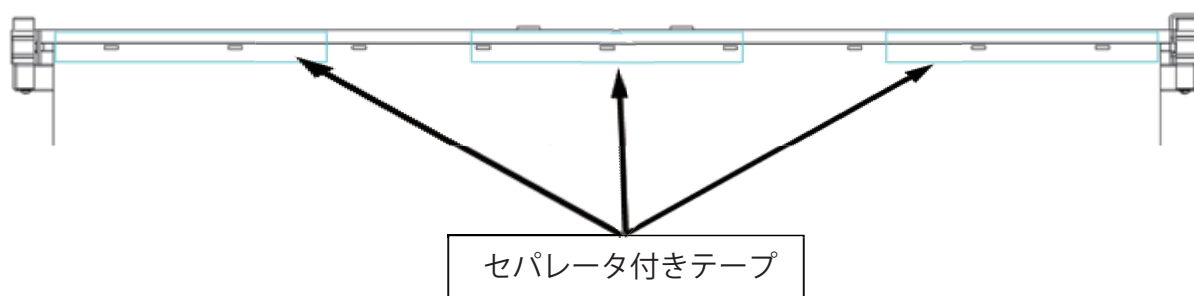
テーブルに巻き替えた生地を図のように置いて、ローラーの溝に生地固定用ストラップを入れます。



4. 生地交換用ストラップ両端をローラーに合わせます



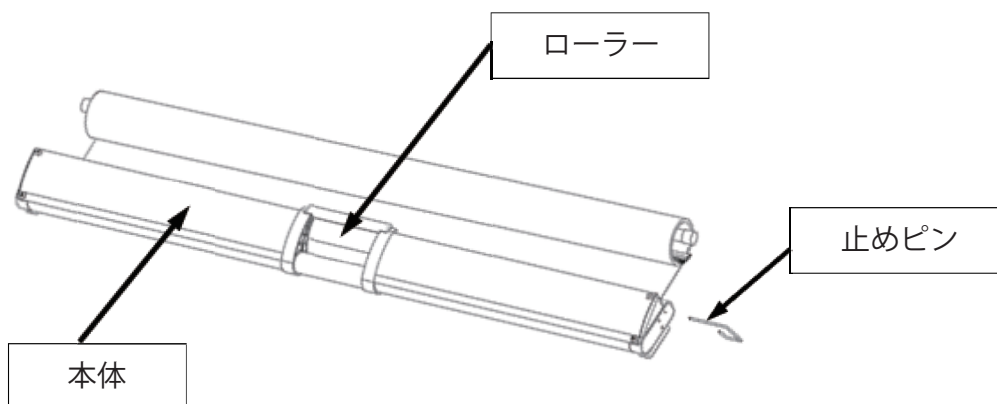
5. セパレータ付きテープでしっかりとスクリーン生地とローラーを固定します (3箇所)



6. 生地をゆっくりと巻き取ります

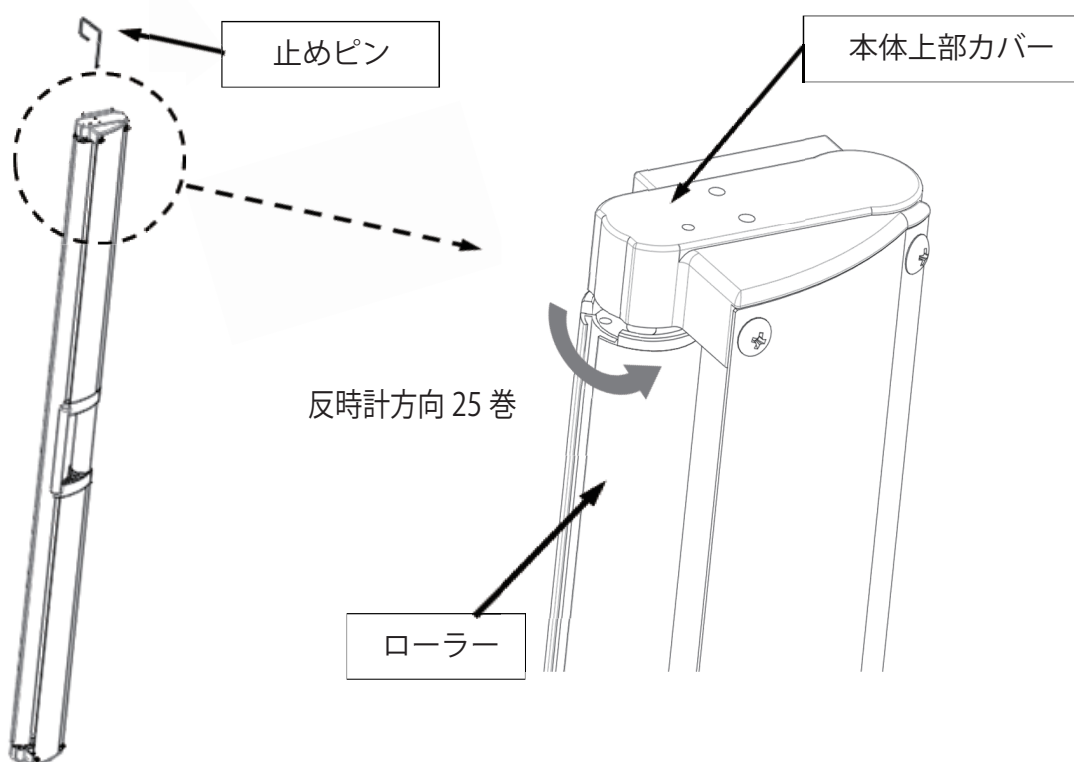
ローラーと本体を押さえながらゆっくりと止めピンを抜いてください。ローラーの手を緩めながら、ゆっくりと生地を巻き取ります。

(ローラーにはバネが作用していますので、上から見てローラーを反時計方向に、少し回すように力を加えると止めピンが抜けやすくなります。)



ローラーを押さえずに止めピンを抜くと、ローラーが急回転しけがをする恐れがあります。

- ※ 万一、止めピンが抜けて、ローラーを回転させるバネが作用しなくなった場合には、本体上部カバーを上から見て反時計方向に、25回巻いて、図A(ページ4)の位置で止めピンを差してください。



Memo

製造販売元 株式会社 オーエスエム

連絡先: 株式会社オーエス テクニカルサポートセンター
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL: 0120-465-040 FAX: 0120-380-496

(受付時間: 平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail : info@os-worldwide.com